

謹んで新春のお喜びを 申し上げます

新年おめでとうございます。

平成から令和に時代が変わりました昨年、これまで検討を進めてきた事業や関係機関への要望などに取り組んできた事業が目に見えて形になった1年となりました。

市街地の再生に向けた取り組みに関しては、昨年4月に、コンビニエンスストアを備えた災害公営住宅、その隣接地に子育て世帯向け地域優良賃貸住宅が完成し、入居者を迎えております。7月にグラントオープンした花巻中央広場では、9月の花巻まつり期間の屋台村出店、12月にはクリスマスツリーとキャンドルの点灯やワインパーティーが行われるなど、多くの市民が集う場となっております。平成28年度から移転整備支援を進めてまいりました公益財団法人総合花巻病院の新病院は11月に完成し、本年3月の開院に向けて準備を進めていただいているところであります。また、東和コミュニティセンターが、休館中の東和ふるさと歴史資料館の機能も併せ持った施設として11月に新築オープンし、東和地域の生涯学習と地域づくりの拠点として活用されております。

本年におきましても、JR花巻駅東口周辺への整備を予定している新花巻図書館構想の具体化を目指すとともに、JR花巻駅東西自由通路・橋上化についても引き続き検討を進めるほか、遊休不動産の活用による「リノベーションまちづくり」への取り組みを続けるなど、まちなかの活性化を図ってまいります。

本市を取り巻く道路環境などインフラ整備に関しては、国道4号北上花巻道路について、昨年6月の国土交通省の審議会において現道拡幅案が承認されたことを踏まえ、早期の事業着手について引き続き国へ要望してまいります。(仮称)花巻PAスマートインターチェンジについては、9月に新規事業化が決定し、令和5年度中の供用開始を目標に準備を進めており、併せて近隣地域への産業団地開発についても調査を進めてまいります。また、主要地方道花巻大曲線花巻・沢内間未改良区間の整備については、11月に小倉山4号トンネル築造工事が予算化されたことから、早期完成に向け引き続き県などへ要望してまいります。

西南地区に新設する道の駅「はなまき西南」は、本年中のオープンに向けて、また、道の駅「石鳥谷」は、令和5年度のリニューアルオープンを目指し、整備を進めてまいります。

本年は、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催される年です。本市は、東日本大震災において支援いただいたアメリカ合衆国の姉妹都市ホットスプリングス市およびラットランド市、オーストリア共和国の友好都市ベルンドルフ市に感謝の意を表するとともに、引き続き友好関係を深めるため、「復興」がありがとう「ホストタウン」に登録し両国を応援しております。これまでも各種交流イベントなどに取り組んでまいりましたが、本年も両国の選手と市内の子どもたちなどとの交流事業を含むイベントを行う予定としております。この事業を通じて、本大会の成功と子どもたちが外国を身近に感じ、視野を広げ、自分たちの夢を膨らませる一つのきっかけとなればと期待しております。

結びに、本年が皆様にとりまして幸多き年となりますことを祈念申し上げます。新年のあいさついたします。



花巻市長
上田 東一